



TITLE:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 55

AUTHOR(S):

CITATION:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 55. 京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 1957, 55: 67-71

ISSUE DATE:

1957-04-05

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/186815>

RIGHT:

京都大学瀬戸臨海実験所振興會

水族館月報

No.55

1957.3月(4月5日)

録 事

“神武景氣”のためか、或は4月から鉄道運賃があがるためか、いずれにしても近來の入館者数の上昇ぶりは驚くべきものがある。3月の入館者は昨年の同期よりも2万以上多く、月末は連日3000人を上下する混雑ぶりを見せた。昨年予想された本年事業収入は累計800万円を突破したが、健全財政堅持のおかげで自然増収約200万円を算えるにいたった。

かねて瀬戸部より譲渡を受けた臨海実験所東北側の隣接地約1200㎡の1隅に蟠踞する小丘を取り除き整地すると共に、京大演習林の柴田博士の設計による植栽計画に基づき、小倉園丁等の御好意によって一部の植栽を終った。海岸に植えられた400本のクロマツ苗が將來防風林として育つためには、来年度中にその外側に砂防工事を施さねばならないだろう。

先月、観光券の料金支拂遲滞について明光本社に抗議を申し入れたところ、現金の早急支拂不可との理由で発行されに200万円の約束手形を万止むをえず受領した。幸にしてこれは紀陽銀行白浜支店長の特別な御好意によって、不日現金化することが出来た。

UNESCO 委託によって京都大学側で実施された田辺湾の海洋観測の研究結果発表会が3月21日京都で開かれ、山路・布施両委員がこれに出席した。

月末の25日に田辺造船所で新造された実験所の実習船 OBE-LIA 第2世が回航され、南の船場場で進水の祝を行った。

業 務 概 況

◎ 3月の入場者数

区 分	水族館発売数		明光バス発売数		合 計	
	本月分計	累 計	本月分計	累 計	本月分計	累 計
大 人	12988	93665	27272	184610	40260	278275
小 人	831	7210	572	4480	1403	11690
団 体	23977	147168	—	—	23977	147168
合 計	37796	248043	27844	189090	65640	437133
無料入場者				0	0	1080

団 体： 一般 285組, 学生 59組 計 344組

◎ 3月の事業収入

(今年累計)

観覧券売上金	1204,146	7,981,343
預金・積立金利子	23,718	72,800
雑 収 入	75	11,280
魚 類 拂 下	100	200
計	1,228,039	8,065,623

◎ 3月の支出

水族館経費

費 目	金 額	累 計	備 考
人 件 費	56295	872423	
会 議 費	24300	92807	常務委員手当等
備 品 費	11,100	205,310	進相器, 起動器, 本立
消 耗 費	21,300	162,444	
事 業 費	72,138	545,893	
維 持 費	46,401	221,857	バルブ修理, ポンプ工事等
其 他 諸 経 費	5,387	261,593	
積 立 金	353,101	1,507,756	
合 計	590,022	3,870,083	

実験所経費

費 目	金 額	累 計	備 考
研 究 費	33800	114,365	山路布花委属研究費等
奨 学 金	5,000	60,000	
備 品 費	223,614	428,254	*
刊 行 費	188,558	495,933	Publ. vol. 5, no. 3 及 目次印刷
役 務 費	—	62,125	
合 計	450,972	1,160,677	

※ 1. 協和 K A 1 型顕微鏡 5 台, 千代田対物鏡レンズ X 2

2. 長椅子, 小廻孩童椅子各 1 脚

3. Journal of Entomology and Zoology. vols 34~40 他

博物館経費

費 目	金 額	累 計	備 考
人 件 費	5,000	72,535	
備 品 費	19,950	108,450	標本箱, 標本立
消 耗 費	—	14,835	
役 務 費	5,000	30,810	海藻標本整理手当
合 計	29,950	226,630	

臨時費

摘 要	金 額	累 計	備 考
寄贈土地整地植林費	134,430	535,305	
合 計	134,430	535,305	

支出合計

(今年迄累計)

水族館経費 590,022 3,870,083

実験所経費 450,972 1,160,677

博物館経費 29,950 226,630

臨時費 134,430 535,305

計 1,205,374 5,792,695

◎ 3 月末現在高

前月からの繰越 2,353,447

今月の収入合計 1,228,039

今月の支出合計 1,205,374

現 在 高 2,376,112

—(69)—

◎ 前年度との比較

	1956	1957	増 減
入坊者数	45791	65640	+ 19849
売上金	827700	1,204,146	+ 376,446
支出金	1,393,904	1,205,374	- 188,530

水族館記事

- ◎ 水温の上昇により熱帯魚やカメの水槽の保温装置を今月初めに取りはずした。
- ◎ 1日、2日とハマチが相次いで2匹死亡。
- ◎ 11日堺の漁師よりタカアシガニ1匹購入、No.31水槽に先月お目見せしたのと2匹が所狭ましと這いまわっている。
- ◎ 18日スズキ1匹入槽
- ◎ 23日アンコウ1匹と、約5貫もある巨大なアカエイ1匹が入る。
- ◎ 24日エビスダイ1匹入槽。
- ◎ 27日アンコウ1匹、ニシキエビ1匹死亡。
- ◎ 27,28日マダコ1匹づつが夜中に水槽の金網のすき間から脱出して死亡。
- ◎ 29日堺漁業組合よりネコザメ1匹を入手した。
- ◎ 今月より山路委員執筆の水族館のはなしは水族館でその販売を取扱うようにして、さしづめ300部を書店より引取り、水族館の入口に本棚を造った。売れゆきは先づ順当のようである

△

△

△

△

資料

◎ 3月の気象

	上旬	中旬	下旬
晴天日数(22)	5	8	9
気温(C°)	$\frac{8.4 \sim 14.7}{10.5}$	$\frac{6.5 \sim 14.1}{10.4}$	$\frac{9.0 \sim 13.7}{11.2}$
水温(C°)	$\frac{12.7 \sim 15.3}{13.6}$	$\frac{12.0 \sim 16.4}{13.8}$	$\frac{13.4 \sim 16.0}{14.5}$
比重	$\frac{26.0 \sim 26.8}{26.4}$	$\frac{25.8 \sim 26.7}{26.3}$	$\frac{25.6 \sim 26.3}{26.2}$

但し { 気温は南水槽室
 { 水温 } で9時測定
 { 比重 } No. 25水槽

来訪録

3月6日 江ノ島水族館中島将行・和歌山県水産試験場宮中正昭
 両氏来館(養鯨池設置参考のため)。

昭和32年4月5日

(No. 55)

編集兼
発行者

内海富士夫

発行所

瀬戸内海実験所振興会
 和歌山県白浜町
 瀬戸内海実験所内
 (Tel. 白浜温泉515)